

八峰CS通信

平成29年度
第 10 号
H29/8/30 文責
CSディレクター
川尻

第1回熟議でCSを学び、意見を交流

8月22日、峰栄館で八峰町コミュニティ・スクール初めての熟議を開催しました。開始直前に降り出したものすごい雨の中、参加していただき、ありがとうございました。



先進校の実践発表をお願いした金俊紀先生からは、コミスクを楽しんで欲しいという話を皮切りに、「学校の枠を超える」「10年先を見据える」「学校と地域の互恵性を大切に」といったCSを考える際のキーワードやCSの三本柱+1「地域住民の学校運営参画」

「地域力を生かした学校支援」「学校力を活かした地域づくり」「地域と学校の協働実践」が示され、金先生が取り組んだ地域と学校の協働実践が紹介されました。また「物語を作る」「夢がある」「体験である」「感動がある」「もったいないを大切に」といったCS協働事業の8つの視点、CS推進に注意することなど、大変参考になる内容のお話でした。

その後、中心課題を小中連携とした協議では、各グループで実りある討議が行われました。協議内容については、後日まとめたいと思います。

最後に、県教委生涯学習課佐藤潔先生から「お年寄りの活用や校報の全戸配布など具体的な提案があった。幼小・小中・中高の連携を大切にしたい。今から15年後を見据えて欲しい。支援・活用ではなく互いに力を

合わせることが大事である。実社会では自分と違う人とかかわりが課題なので、世代の違ういろいろな人とかかわらせて欲しい。」などの指導助言をいただきました。



伝統を受け継ぐ子どもたち

夏休み、子どもたちはそれぞれの地区で有意義に過ごしたようです。八森地区の白瀑神社例大祭の石川駒踊り奉納の様子を見られました。元氣なかけ声とともに何回も滝に向かう白瀑神社神輿



元氣なかけ声とともに何回も滝に向かう白瀑神社神輿

お囃子の太鼓などで中学生も活躍していました。



小学生も華麗な奴踊り



勇壮な青年の駒踊り、小さな駒もがんばっていました。